

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897 |

74

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官
務務 房
次次 長
臣官官審審長
機書文会管給

総人機厚計

国資長領
参調析
参領旅移

総番号(TA) 24216
69年6月5日21時02分
69年6月6日12時14分
米本 国省 米局長
外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣訪米(國務次官午さん会)

第1744号 特秘 大至急

5日ジョンソン次官主催午さん(出席者、アイチ大臣、シモダ大使、米局長、マイヤー大使、ブラウン次官補代理)の際の話し合は大臣が同日午後ロジャース長官との会談において要約された通りであるが、内容とりまとめ以下の通り。

1. オキナワ返かんに伴う財政問題

米側一米政府としては返かんに伴い国際収支上のLOSSはないとの立場をとつておく必要あり、この点に関し//月総理訪米の時までに原則について合意に達しコミニケを書くか否かは別とし、米国内においてこれを公にし得る必要あり。

わが方一今日までFINANCIALの分野のDATAを全く持っていない。DATAなしに原則だけ決めるということは出来ない。本件取進めのためには先ずDATAを出してもらふ必要あり。回収した流通ドルをそのまま米側に渡せとか、施政権者として支出した行政費を返せとか

ア 参北東経
長 中西三
参北北保
中 参一
南 参一
審 参一
散 参西東洋
長 西東

近ア 参書近ア
長 次総経国万

長 参副統三
経 参政技二
協 国一理

参 参条協制
長 参政経科

長 参道内外
情 参道内外

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

言うことでは通らない。先ず事実関係を明らかにした上でどう扱うかを考えるべきである。

米側一なるべく早くDATAを提出し専門的検討を進めることとし度し。

2. 防衛問題

米側一返かん後は日本がオキナワのLOCAL DEFENSEは本土と同様に引受けるということを米国内に説明出来なければならない。

わが方一オキナワの米軍の主たる機能は攻撃力を含む抑止力であり、LOCAL DEFENSEはそのかぎにかかれてはいるが、わが方はLOCAL DEFENSEを引受けするのは当然であり、防衛庁においても具体的に検討してゐる。然しながら、わが方の計画を実施するについては、米軍当局と十分協議する要あり。この意味で米軍と自衛隊との直接の協議検討を進める要あり。

米側一その見地よりはPENTAGONまたはCINCPACより責任者を派遣して当らしめる要あるべし。本件の進め方はなかなか難しいが、具体的方途をたん求すべし。

3. 基地の態様

米側一昨日受領した案は極めて有益であつた。コミニケに記載する考え方はいい方法であると思う。あの様な書き物と、その解釈に 関する非公表の文書と言うようなこと

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

でこの問題は解決出来るのではないかと思う。

わが方一非公表の文書というものが要らぬようなコミュニケを作り得ることが最も望ましい。

米側一米側も総て公表し得ることを最善とするは申すまでもない。

わが方一核兵器の問題は極めて困難である。

米側一米側にとつても極めて重大な問題であり、これが最後まで問題となるべし。

わが方一総理が国会で返かん後はオキナワにB-52は置かせないと言う趣旨の発言を国会でしておられるような事情もあり、地域的の問題がある。何れにせよ事前協議の建前をくずすことは出来ない。

米側一米国内も納得させ日本側のみ得るものに合意するということはよく分っている。

わが方一今後の進め方としては、昨日の案に対し米側がこれならよいというものをマイヤ一大使をしてわが方に提示せしめるといことが適当ではないか。

米側一御もつともであるから左様考えることとすべし。

(3)